【市内工事】 指名願提出書類のよくある不備

使用印鑑届に押印してある使用印鑑が「〇〇株式会社之印」等の会社印である。

⇒ 会社印は認めません。「代表者之印」等 人を表す記載がある印鑑にしてください。

都道府県税納税証明書に、「法人都道府県民税」と「法人事業税」のどちらか一方しか記載がない。

⇒「法人都道府県民税」と「法人事業税」の両方の記載が必要です。

（※どちらか一方しか記載がない場合でも、「県税に未納がない。」等と未納がない旨が分かる記載があれば良い。）

飯塚市内の業者で、飯塚市外に支店・営業所等がある場合に、「支店等の所在地の市（区）町村税納税証明書」が添付されていない。

⇒「支店等の所在地の市（区）町村税納税証明書」（写し可）も必要です。

技術者経歴書に添付の監理技術者資格者証の有効期限が切れている。

⇒ 最新の資格者証（写し）を添付してください。更新していなければ監理技術者として認められません。

技術者経歴書に添付の監理技術者講習修了証の修了年月日から5年が経過している。

⇒ 最新の修了証（写し）を添付してください。受講していなければ監理技術者として認められません。

技術者経歴書に添付の雇用の確認ができる書類として、市町村発行の「国民健康保険被保険者証」「後期高齢者被保険者証」等が添付されている。

⇒ 雇用の確認ができませんので、直近3ヶ月分の「出勤簿」（写し）及び「賃金台帳」（写し）を添付してください。

専任技術者証明書が添付されていない。

⇒ 専任技術者証明書を添付してください。なお、許可業種全て、本店以外の営業所等がある場合も全て必要です。

法令による免許等ではなく実務経験により技術者の登録をする場合に、実務経験証明書が添付されていない。

⇒ 希望工種に関する実務経験証明書を添付してください。また、実務経験の合計年数を忘れずに記載してください。